平成９年４月25日 第３種郵便物認可

民主 PRESS MINSHU

号外

埼玉県第14区
八潮版

八潮市議会議員

大久保たつお

八潮市議会レポート
民主・市民クラブ代表 大久保龍雄

まっすぐに！ひたむきに！

〒340-0802
八潮市鶴ヶ曽根2014
TEL/FAX048(996)8618
t-ookubo34@kusanone.jp

2010年４月 NO.15

大久保たつお後援会第５回バス旅行のご案内

後援会：会長　植竹末次郎

６月27日（日）　午前７時集合　八潮高校入り口

出発７時30分～三島大社～伊豆わさび園～伊豆洋ランパーク～柿田川浄水公園～沼津ひものセンター～八潮着（予定17時30分）

会費　5,000円　　＊お申し込みはお早めに

２１年度１２月議会

１１月３０日より１２月１７日まで開催

２１年度第４回定例会が上記のとおり開催され、一般会計予算の補正１４議案、その他１２議案の合計２６議案、意見書７件が上程されました。在宅重度心身障害者手当て支給条例の一部改正案につき**反対討論**しました。後期高齢者医療保険で問題があるようにこの制度改正も認定年齢６５歳を境に手当てを 2,500円減額するものであります。県の制度変更が理由とのことですが、であるなら八潮市として「知恵をだし、汗を流し」県で削減されたお金は捻出する！この気概を求めたい。**政治は「情と理」**です。いわゆる弱者にたいしては最大の配慮が必要ではないでしょうか。県内では削減された分は従来とおり 5,000 円支給する自治体もあります。（吉川市等）残念ですが賛成多数で可決されました。また、マスコミで話題になっています、八ッ場ダムの建設中止の白紙撤回を求める意見書が他会派より提出されました。大久保たつおは**独自に調査**し以下の理由により反対討論を行いました。（抜粋してあります）

討　論　本計画は57年前に計画されたものであり、当時と状況が大きく変わっている。利水という観点では主に首都圏の夏場における渇水対策と言われるが、何十年も断水を経験していない。全国的に水道水の需要は減少しており、八潮市でも例外でないことは決算書でもあきらかである。また、治水の観点では甚大な被害を及ぼした「1947年のカスリーン台風」ですが、その後、国は堤防のかさ上げ・河川の浚渫等対策を講じております。第２点として、費用の問題ですが、八ッ場ダムの当初予算は約 2,110 億円。しかし平成16年９月変更され、4,600 億円、さらに今後の利根川・荒川水源地域の事業と利息を含めるとその総額は**9,000億円に膨れ上がる**と言われている。また、八ッ場ダム上流の湯川では基準の100倍のヒ素が検出されている事、強酸性のために昔から魚の住めない川として地元では昔から知られている事。これに比較し、建設中止となった「戸倉ダム」は総事業費 1,230 億円、上流部に湧水が多く、極めて綺麗、水没予定地に家屋は１軒もない。なぜ「戸倉ダム」ではなく「八ッ場ダム」の建設を強行したのかその理由が明確ではない事。補償問題については国土交通大臣が水利権者にたいし誠意ある話し合いを約束している事。厳しい財政状況のおり、事業精査は必然である。本当に必要なところに予算を当てることこそが国民の幸福につながる。議員各位の高い見識でご理解賜ることをご期待し反対討論を終わります。

一般質問　　１、教育問題

Ｑ　平成２２年度より、全面実施される「小中一貫教育」につき、研究指定校においてさまざまな実践を行なってきたが、その成果と課題は

Ａ　①児童生徒の交流が活発になった②先生方の意識の変化、９年間を見通した指導の大切さを再認識③

八潮市の学校が共通に行う基礎学力問題集「八潮Ｂａｓｉｃ」を活用し改善が図られた④今後、よさをより一層周知しなければならない⑤えらべる科・英語活動・ふるさと科のより一層の充実を図る⑥分離型ゆえの限界がある

Q　小中９年間を一定期間と捉え、どのようなカリキュラムを作成するかが重要と思うが文科省の指導要領との違いは

A　３年生からですが、総合学習と選択教科を削減し、えらべる科・英語活動・ふるさと科を創設したこと、教科指導時間に変更はない。1~2 年生は現行の指導要領で行う

Q　不登校の原因は色々あるが勉強が理解できないこともあると思う。ＮＨＫの番組で「１０歳のかべを越えろ」があった。全国的に 3~4 年生でつまずく児童が多いとの内容だった。原因としてドリル中心の学習と家庭での会話減少によるコミニケーション能力の遅れと分析していたが、八潮市の現状は

A　当市での学力テストの結果を見ますと、9~10 歳（3~4 年生）で悪く、驚いたことに議員ご指摘とおり

Q　一度つまずいた児童に理解をさせることが重要だが、私が視察した夏休みの特別授業（サマースクール）も有効と考えるが、今後も続ける必要があると思うが

A　ご指摘とおり今後、拡大したい

Q　**通知表の評価方法**だが、6 年生までは「がんばろう・できる・よくできる」中学生は「数字の 1~5」であるが、一貫教育なら統一すべきではないか

A　検討委員会を設置し、答えを出したい

Q　学力だけでなく人として大事な事がある、それは他人への思いやり・優しさ・くじけない心等だ。つまり**心の教育だ**が教育長の方針は

A　スクールカウンセラー事業が国の事業仕分けで削減されなかったので配置し、子供たちに当りたい。知・徳・体のバランスの取れた人間を育てる事が最大の課題と認識している

Q　１校あたり、７万円の予算で可能か

A　その他の予算もあるので大丈夫です

Q　市長はマニフェストで小中一貫教育を推進とあるが、市長の想いを

A　教育問題にいつも関心をお寄せいただき感謝している。もうひとつの課題はデーターによると八潮市は家庭での学習が埼玉県で下位である。議員の支援をいただき、良い教育を目指したい

大久保たつおの想い

ソフト面では教育委員会がしっかりやっているが、残念ながらハード面（施設）が老朽化等で理想とする環境ではない。答弁にもあったように分離型の一貫教育はハードルが沢山あります。児童生徒数がピーク時の約半数になっている現状を考えると再編成も視野に入れた施策も検討すべき。以前、視察した東京品川区の小中一体校が頭から離れません。**八潮の子供たちにもっと良い環境を**・・・私の想いです

２、治水対策

Q　大雨のたびに長年同じ箇所が冠水し、市民の生命・財産を守る責任と義務を果たす為にも水害対策は喫緊の課題である。抜本的な対策が必要だが

A　昨年 9 月議会において**大久保議員から数々のご提案を頂き**、いくつかは暫定措置をとりましたが、ポンプ施設や雨水排除施設の設置、浸透施設や流量調整池の設置等が考えられる

Q　では、1 年間でポンプは何台増設されたか

A　国交省との話し合いの進展がなく、0 台です

Q　幸ノ宮落としの排水ホース地中化の進展は

A　新堤工事が終了したばかりである事と暫定施設のため難しい

Q　現在、道路舗装率は 83%だが透水性舗装にした場合、費用の違いは

A　歩道・駐車場で比較すると従来舗装が 1㎡ 2,600 円、透水性では 1㎡ 2,700 円

Q　わずかなら今後、行うべき。葛西用水と八條用水が市の中心を通っているが、いずれも農業用水と言う事で排水が制限されている。現状を鑑みるとすでにその役目は終わっていると考えられる。特には

さまれている新町地区の排水はわざわざ草加市の古綾瀬川へ行っている。不合理ではないか

A　葛西用水については垳川より順次整備しているが年で 100m程度の為、上流部の新町地区までは天文学的な数字になる。八條用水については雨水幹線として検討している。将来的には取組みます

Q　広瀬病院通りの土管を広げるとの事だが、沖通り地区の水はけは良くなるが、旧幸ノ宮地区・鶴一地区がより早く冠水する。入り口もそうだが出口が重要ではないか。県道平方線の土管を広げることは

A　浚渫等の維持管理を適切に行う。平方線の件は将来的にボックスカルバートにし、広げたい

Q　ＵＲ（都市再生機構）が民間会社に損害金を支払ったとの情報が私によせられた。店内冠水事故だ。これが八潮市施工地区なら大きな問題だ。八潮市は 20mm の雨で道路冠水が起こる。提案だが 20mm×18 平方キロ（市の面積）＝360 万ℓだ。ドラム缶は 200ℓだが市の 32,000 世帯の内 18,000 世帯がドラム缶を設置すれば 200ℓ×18,000＝360 万ℓになる。つまり小さなダムを作る事により冠水は防げるし溜まった雨水は庭木に撒いたり車の掃除等に使える、いつも申し上げる**一石二鳥の策**ではないか

A　市では不要になった浄化槽変更や貯水装置の設置に補助金制度がある。ドラム缶は美観の問題もある

Q　制度利用者が６年間で 10 件だけではないか！**安価で効果の高い施策を実施しない事は不幸だ。**ドラム缶は私の調査では新品で 4,500 円･リサイクル品で 3,300 円だ。市の制度は浄化槽変更で 80,000 円･貯水槽で上限 25,000 円だ。はるかに安価ではないか！大胆な発想をしなければいけない。

大久保たつおの想い　雨が降るたびに枕を高くして眠れない方のためにも水害対策は死活問題です

22 年 3 月議会

3/1~3/19　新たに大久保たつおは財政健全化調査検討特別委員会委員につきました

3 月議会は 21 年度の補正予算と 22 年度予算案など 35 議案と意見書 7 件審議しました。補正予算中、新たな借金をして財政調整基金に積む方法に対し反対、22 年度予算につきましては、相変わらず慣例や従来の方法での予算のため、踏み込んだ事業仕分けを行うべきと反対しました。**私が提出しました意見書は全会一致で可決され**、衆参議長・総理大臣・総務、財務両大臣へ送付しました。＊「地方の財源の安定的な確保・国庫補助金を一括交付金にすること・財政調整制度の創設により地方間格差の是正を図ること」

一般質問

傍聴者が多く議場に入れなかった方にはお詫び致します　**＊行田くにこ参議院議員も見えました**

Q　八潮市の外国人登録者数が平成 19 年 2,165 人、20 年が 2,442 人 12.8%増である。これは県内全市町村平均 5.5%のなか、突出しているが要因をどのように考察するか

A　平成 22 年 3 月 5 日現在 2,484 人、これは市民の**約 33 人に１人が外国人**です。本市は企業数が多く研修生を受け入れる企業体制がある・交通利便で比較的家賃が安い

Q　当然、納税義務はありますね

A　あります

Q　三位一体の改革により所得税と住民税の割合が変わり自治体の徴収能力が問われるが、住民税は前年所得にたいし１月１日住居自治体が課税だが、他市からの外国人にたいしてもシステムがあるのか

A　あります　　＊途中、紙面の都合上割愛させて頂きます。

Q　小中学校で英語指導のため、**ALT・語学指導助手９名分約 3500 万円**の予算だが外国人ボランティアをお願いすることにつき問題点は。教育長の見解を

A　誰でもというわけにはいかない。同じ英語圏でも発音の問題や、研修・面接等の手続きを行い、指導方針を理解して頂く必要がある。ふるさと科でのお国の文化等を紹介してもらう事はできる。人材バンクがあれば良いのでは

Q　それは良い提案だ。八潮市は生涯学習を標榜しているので街づくり財団等に創ることを提案したい

２、障がい者への支援について

涙ながらに訴えました

Q　八潮市では「わかくさ・やまびこ」が市の直営、「虹の家」が手をつなぐ親の会、「森のこかげ」が NPO 法人たらちねが心身障がい者通所施設として運営しているが、各通所施設での平均賃金は

A　それぞれ、2,523 円・3,357 円・5,839 円・8,885 円です（**１ヶ月です**）
Q　市の業務の発注件数は
A　１件もありません
Q　群馬県太田市では除草作業・清掃作業・分別作業等を発注し１ヶ月約６万円の賃金だ。親の一番の心配は自分がいなくなった後ではないか。グループホームでの自立が可能になる。地方自治法施行令 167 条の 2 第 1 項第 3 号は承知か
A　存じてます
Q　これは特定団体とは随意契約が出来る法律だが、「虹の家・森のこかげ」は特定団体か
A　そうです
Q　今後、「わかくさ・やまびこ」も自立支援法により移行し 2 団体も特定団体となる。各施設の責任者と業務発注につき会議を設けるか
A　行うことは可能です
Q　毎年、特別支援学校を卒業されてくるが、キャパは大丈夫か
A　本年度「やまびこ」建替えで増員が図れるが、先々、増設が必要になる
Q　南川崎保育所内のバラ組だけなぜ延長保育・時間外保育を認めない
A　情緒不安定等の心配があるため早く保護者のもとへがある
Q　**それは保護者が決めることだ。**わずか 9 名の定員にようやく入所できたが終了が 4 時 30 分では選べる仕事が限られる。相談に乗る事は
A　当事者と相談にのりたい
Q　八潮市の今後の福祉政策・基本的な方針を市長に伺う
A　大きな問題を取り上げられました**。障がい者を大久保屋さんで雇われたらどうですか？**今後、高福祉高負担か低福祉低負担を選択する時代になるかも
Q　**何を言っているか！**・・・１タス１は２ではない！**血の通った人間だ**！大体高負担に耐えられるか！事業仕分けを行い、不必要な補助金・委託金を精査し、本当に必要なところに投じるべきだ！健全な団体に相変わらず支出しているから**２２年度予算に反対**しているのだ！自助・共助・公助というが、自助のスタートラインに立つことが出来ない方たちではないか！暖かい施策をすべきではないか！！！

大久保たつおの想い　　障がい者をチャレンジドと呼称を変えるべきと提案

私のところに、１通の手紙がきました。ご自分のお子様が障害を持ち、行政に訴えても力むなしく、八潮市で育てる事をあきらめ足立区の保育園に通うため引越したことなど切々と私に訴えてきました。（八潮市では生きていけなかったとも書いてありました）今は成人され、懸命に生きていますが、この方の若いお母さんや小さな子供たちの事、通所施設の現状を変えて行きたい！そんな想いが伝わって私は、反省と後悔の念にかられました。もっと早くこの問題に取組んでいればと・・・慙愧（ザンキ）に耐えません。

早期療育の問題も 20 年前にできたバラ組の定員が現在も 9 名です。一歩も進んでいません。私たちはこのような現状を**放置してはならない！**　　これからも取組んで参ります。

ごめんなさいおかあさん。ごめんなさいおかあさん。ぼくが生まれてごめんなさい。ぼくを背負うかあさんの細いうなじにぼくはいう。ぼくさえ生まれなかったら。かあさんのしらがもなかったろうね。大きくなったこのぼくを背負って歩く悲しさもぼくさえ生まれなかったら。ありがとうおかあさん。ありがとうおかあさん。おかあさんがいるかぎりぼくは生きていくのです。脳性マヒを生きていく。やさしさこそが大切で悲しさこそが美しい。そんな人の生き方を教えてくれたおかあさん。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・おかあさんあなたがそこにいるかぎり。

この詩は生まれたときから全身が不自由、口もきけない通称やっちゃんを養護学校の先生が抱きしめ話を全身で聞き、言葉のサインを決めて気の遠くなる時間をかけ生まれました。

2 ヶ月後やっちゃんは亡くなりました。